

平成 29 年度 第 7 回定例理事会抄録

日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）13：02～16：12

場所：TKP 神田駅前ビジネスセンター カンファレンスルーム 5C

出席：中村（会長）、荻原、香山、山本（副会長）、荻山、座小田、陣内、藤井、三澤（常務理事）、池田、川本、酒井、高島、谷、二神（理事）、太田、長尾、古川（監事）

陪席：小賀野（委員長）、岡本（財務担当）、山本（東京コロニー）、宮井（事務長）

1. 報告事項

1. 平成 29 年度第 6 回定例理事会議事録（香山副会長） 書面報告。
2. 8 月期の収支状況について（香山副会長） 11 月に上期の中間監査を予定している。
3. 次期コンピュータシステムの開発日程について（荻原事務局長） 会員管理、会費徴収、生涯教育関連のシステム開発を慎重に厳密に進めるため、委託業者と協議し、2018 年 4 月の全面公開予定を 2019 年 4 月とした。1 年延ばすことで会員に生ずる不利益及び予算の変動はない。
4. 平成 30 年度診療報酬・介護報酬に関する単独要望書の提出について（三澤常務理事・制度対策部長） 厚生労働省社会・援護局、老健局、保険局に要望書を提出した。
5. 平成 29 年度国際部人材育成セミナー活動報告（受講者アンケート）について（藤井常務理事・国際部長） セミナー参加者は少ないが、国際社会で活躍する作業療法士は着実に増えている。
6. 認知症初期集中支援チームの Q&A 集（改訂版）について（荻山常務理事） 2018 年 1 月に PDF 配信できるよう作業を進めている。
7. 日本作業療法士連盟の動き（二神理事） 第 48 回衆議院選挙では、リハビリテーション議員連盟所属の議員から依頼があった場合は協定書なしで推薦状を出す方針とした。その他の候補者からの応援依頼に対しては政策協定書を結んで推薦状を出した。今回の選挙で作業療法士の代議士が誕生した。
8. 会長及び業務執行理事の平成 29 年 9 月期活動報告 書面報告。
9. 協会各部署の平成 29 年 9 月期活動報告 書面報告。
10. 渉外活動報告 書面報告。
11. 訪問リハビリテーション振興財団の動き 書面報告。

12. その他

座小田常務理事・国際副部長：10月19～22日に開催された第1回アジアンパシフィック OT シンポジウムに、協会から10名が参加した。

陣内理事・教育部長：12月に第61回作業療法全国研修会が予定されている。

II. 審議事項

1. 平成30年度予算配分表(案)について(香山副会長) 平成30年度の赤字決算は絶対に許されない状況にあることから、予算の大枠について改めて確認がなされ、承認された。→承認

2. 次期中期計画(第3次取りまとめ)について(荻原事務局長) 10月27日の臨時常務理事会で、広報・国際関連事業及び法人運営の関連事業について検討された。その結果が第3回取りまとめとして理事会に提示され、制度対策部から新たに追加された事項案「精神障害にも対応する地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方を検討する」とともに承認された。→承認

3. 第三次作業療法5ヵ年戦略の周知方法について(荻原事務局長) 冊子として印刷・配布はせず、2018年4月発行の機関誌と協会ホームページに全文を掲載する。また、概要版を作成して繰り返し機関誌に掲載することにより、ホームページでの全文の確認を促す。→承認

4. 公益財団法人日本リウマチ財団からの登録作業療法士(仮)の提案について(中村会長) 日本リウマチ財団から、リウマチのリハビリテーションに関わる作業療法士について登録制度を設けるという提案があった。発足は平成31年度の予定で、登録作業療法士(仮)の登録には、個人の登録料ほか研修参加費がかかる。本会に拠出金等を求めることはない。こうした事項を踏まえ、リウマチ財団提案の登録作業療法士(仮)の発足を進めることが承認された。

承認後、リウマチの患者層が大きく変わっているという現状もあり、研修の詳細、試験の有無等、会員のメリットになることを考えていただきたいという意見があった。

5. 会員の入退会について(荻原事務局長) →承認

6. 会員の処分について(荻原事務局長・倫理委員長) 前回理事会で仮処分となっていた2名に対し、所定の手続を完了し、当該会員を退会処分とした。→承認

7. その他 荻原事務局長：日本行為依存症医学会が立ち上がり、角岡理事長が本会に挨拶

拶に来て、今後の連携について理解と協力を求めた。内容は理解できるとし、協力については具体的提案を求めた。金銭的な問題については慎重に対応したいと伝えた。 →承認